

松山市公営住宅システム
再構築業務委託

仕 様 書

1. 委託名称

松山市公営住宅システム再構築業務委託

2. 全体概要と目的

2. 1 全体概要

本市では、平成 21 年度から現在の公営住宅システムを稼働しており、住宅情報、入居者管理、駐車場管理、収納事務などの公営住宅に係る業務を行っている。現システムの更新に伴い、公営住宅システム再構築を実施する。

2. 2 目的

本市が依頼する仕様書に基づき求める期限までの稼働及び安定運用を本業務の目的とする。

3. 調達範囲

公営住宅システム（物理サーバ導入型又はクラウドどちらでも可。）
端末通信機器及び回線（クラウド利用が必要な場合）

4. 契約期間

契約締結日 から 令和 7 年 1 0 月 1 3 日

5. 要件

5. 1 調達で求める要件

調達する本システムは、「機能要件書」「帳票要件書」のとおりとする。

5. 2 プラス提案（機能面）

提案限度額の範囲内で「機能要件書」「帳票要件書」以外に、本市に提案したい機能を 5 件以内で提案すること。

5. 3 プラス提案（運用面）

業務効率化、情報セキュリティ強化、コスト削減などを目的として、提案には次の観点を積極的に取り入れること。ただし、自治体業務を行う上で必要な情報セキュリティやライセンスは確保すること。（別途、費用が掛かる場合は、その額を提示すること。）

（1）システム導入時及び運用時における職員の負荷軽減

（2）I C T／デジタル技術の活用

5. 4 導入スケジュールの提案

本稼働までに必要な項目（インフラ整備・環境構築・データ移行・データ連携・検証期間・並行運用・段階的稼働等）について本市と調整し、安全・確実かつ職員の作業負荷軽減も考慮した包括的な導入スケジュールを提案すること。

なお、本市が想定する本システム本稼働日は「令和7年10月14日（予定）」であるが、前倒しとなるスケジュール提案は可とする。

5. 5 本業務における課題と解決策

本業務の円滑な実施に当たっての課題と、その対応方針について提案書に示すこと。

5. 6 役割分担及び体制図の提出

次の資料を提出すること。

（1）各作業における、本市と受注者の間での役割分担（表形式）

（2）受注者側の体制図

※プロジェクト推進体制には、提案するパッケージの導入や自治体システムの構築に従事した経験のあるシステムエンジニアを含めること。提案書には、プロジェクト責任者、プロジェクト管理者、業務リーダーなどの経歴や資格等についても記載すること。

6. 現行システムの概要

6. 1 システムの名称

公営住宅システム

6. 2 クライアント

クライアントは、既存のものを利用して正常に稼働すること。クライアントの仕様等は「別紙1. 既存業務系端末」のとおりとする。

なお、利用するクライアント数は、「別紙2. 利用端末等一覧」を参考とし、今後、利用端末及びデータ量等の増加による性能低下を発生させないようパフォーマンスの最適化を図り、業務に影響のない性能とすること。

・端末の設定

本システムを使用するクライアント端末は本市が用意するが、当該端末で本システムが正常に動作するように必要があれば受注者が当該端末の設定を行うこと。

また、本システム稼働後に本市担当者が端末設定作業をできるように、設定マニュアルと設定資産を提供すること。

6. 3 プリンタ

プリンタは、既存のものを利用し、正常に出力できること。

- ・既設 NLP（日本語ラインプリンタ）

NLP への出力については、既設の「PS5110B（富士通製）」を使用し、プリンタサーバを経由して大量帳票を正常に出力できること。

- ・レーザプリンタ

担当課既設の「XL-9322（富士通製）」を使用し、業務に必要な帳票が当プリンタにて指定のトレイ及びマルチトレイ（手差し）から正常に出力できること。

6. 4 独自の運用

- ・総合収納（トータル収納）システム

一部の収納情報について、トータル収納により連携し取込を行っている。

なお、詳細は、「9. 2 総合収納（トータル収納）システム連携機能」のとおりとする。

7. 業務システム要件

機能・帳票要件については、「機能要件書」「帳票要件書」のとおりとし、本機能は必須とする。

なお、バッチ帳票の出力や保存など管理する機能を有すること。

8. インフラ環境要件

- ・ネットワーク環境

次のネットワーク環境は、既設のものを利用することとする。

本市のネットワーク回線速度は、庁内が100Mbps。

9. 他業務連携における機能要件

9. 1 税情報のデータ連携機能

基本要件

- ・税情報の連携機能については、CSVデータの取り込みが行えること。
- ・取込みの際に、必要に応じてレイアウト変換を行うこと。
- ・ファイルの取込みを行ったログの管理ができること。

9. 2 総合収納（トータル収納）システム連携機能

（1）基本要件

収納情報については、収納代行業者から提供される収納データを取り込み、消込処理ができること。

（２）コンビニ収納

コンビニ収納情報については、「速報」、「速報取消」、「確報」データをそれぞれ取込み、各種チェックを行った後、仮消込処理及び、本消込処理ができること。

（３）消込処理

消込処理の運用については、収納代行業者から提供されるデータを取り込む運用とする。「速報データ」と「収納データ」は切り分けて管理できること。

（４）各連携ファイル仕様

各連携ファイル仕様は、次のとおり。

なお、詳細については、必要に応じて提供する。

- ・別紙３－１．収納消込データ仕様書
- ・別紙３－２．仮消データ（コンビニ）仕様書

９．３ 時刻同期

既設の時刻同期サーバから、各サーバの時刻同期を図ること。

９．４ 職員管理機能

（１）基本要件

権限に対応した業務処理が行えること。

（２）年度切替

職員情報とそれに付随する権限情報については、基準日をもって切り替えができ、現年度から新年度に権限情報が引き継げること。

（３）権限設定機能

住宅課以外の課の職員が業務を行う際、関連業務以外の画面遷移は行わない権限設定ができること。

（４）メンテナンス要件

職員情報及び権限情報については、随時、オンラインで追加、修正できること。

９．５ エンドユーザーコンピューティング（ＥＵＣ）機能

ＥＵＣ機能を利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができること。

- ・データ抽出については、オンライン稼働中も行えることとし、オンライン処理のレスポンスへの影響を最小限にとどめること。
- ・データ抽出の条件等は、職員側でも作成可能とし、また、条件等を保存し再処理できること。

10. 移行における要件

・移行対象データ

(1) 基本要件

移行に際しては、現行システム管理している「別紙4. データ移行仕様書」に記載のデータを受け取り、確実に導入するシステムへ移行すること。

(2) 業務移行データ要件

受託事業者は、必要に応じてレイアウト変換、コード変換、文字コード変換を実施し、移行を行うこと。

なお、詳細は「別紙4. データ移行仕様書」を参照。

・その他の事項

(1) 移行データ検証

移行を行ったデータ全てに対し、検証作業を行うこと。

(2) 検証用帳票

移行したデータについては、本市が検証作業をするための帳票を作成すること。なお、帳票の仕様については本市と協議の上、決定すること。

(3) データ補完

受注者は、ツールや簡易プログラム等で一括移行できなかったデータ及び移行データの不足分については、本市と協議の上、データの補完を行うこと。

(4) その他調整

受注者は、本市と調整を行いながら、本市が提供するデータを基に移行を行うこと。開発用データについては、本市が用意するテスト用データを用いて行うこと。

11. 操作研修における要件

(1) 概要

新パッケージの操作習得に必要となる研修時間や回数を考慮した上で研修計画を作成し、研修を実施すること。研修時間については、必要であれば業務時間外・土日・祝日等の使用も可とする。

(2) 研修環境

研修計画に従い、研修に必要な研修用サーバ等の環境を構築すること。また、クライアント端末（業務で利用している端末8台程度を想定）・場所等については、本市にて提供する。

(3) マニュアル

担当課用の操作マニュアルを作成すること。

(4) 研修体制

講師については、研修に対するノウハウを持った専門のインストラクターであるこ

と。また、研修においてQ & A対応を行い、必要に応じ操作マニュアル等の最新化を図ること。

(5) 運用後における研修

システム稼動後、本番環境で利用している端末全てで研修を行えるように環境を構築すること。

1 2. 運用要件

1 2. 1 オンライン利用時間

オンライン利用時間（最低限）は、次のとおりとする。

- ・オンライン利用時間（平日） 7：00～22：00
- ・オンライン利用時間（土曜） 7：00～22：00
- ・オンライン利用時間（日曜・祝日等） 7：00～22：00

1 2. 2 バックアップ処理

バックアップについては、システムバックアップとデータバックアップできる仕組みを有し、バックアップデータについては世代管理ができる仕組みを有すること。

1 2. 3 ログ管理

次の内容を想定した運用を行えることとする。

- ・不正を追跡・検知・監視するために必要な記録（ログ）を取得すること。
- ・上記に必要なログは、5年度分以上保存できること。また、必要に応じて本市が閲覧可能な形式にて、提供すること。

※ログ情報は、「いつ、誰が、どこで、どのデータで、何をした」が判別できる情報

1 2. 4 監視要件

安定した運用を行うため、システム等監視を行うこと。

(1) 監視内容

- ・死活監視
- ・エラー監視
- ・リソース監視

(2) 監視時間及び間隔

監視時間は24時間とすること。

(3) 監視間隔

監視間隔はリアルタイム監視（秒間隔）とすること。

1 2. 5 定例会

定例会の開催は、下記のとおりとする。

想定する内容

- ・業務運用状況
- ・課題対応状況
- ・レベルアップ作業進捗状況
- ・SLA の報告・改善提案
- ・今後のイベント等予定確認、各種調整等

1 3. テスト環境及び研修環境

(1) テスト環境

システム稼働後改修等に備え、テスト環境を構築すること。なお、テスト環境は、本番環境と同様の業務間連携を行えるよう構築すること。

(2) 研修環境

テスト環境を研修環境として利用できること。また、各環境において目視で本番環境との見分けが常時つくこと。

1 4. 保守業務

再構築後の保守業務は、下記の運用を想定している。保守期間は令和7年10月14日から令和12年3月31日までの54ヶ月とし、別途契約する。

(1) 保守時間

①システム異常検知時の障害対応時

少なくとも開庁日の8:00～18:00の間保守を行うこと。

ただし、バックアップデータ等を使って異常時でも業務が行えるようサポートを行い、緊急時には上記の時間外でも対応できること。

なお、これはバッチ処理において、エラー等（パラメタ誤りも含む）により処理停止等となった場合も含まれ、あらかじめ決められた連絡先に連絡するとともに、エラー等の解消や再処理等の対応を行うこと。

②一般問合せ時

システム稼働後の問合せ窓口を設置し、職員等からの問合せ対応及び問合せ履歴管理を迅速かつ円滑に実施すること。

問合せ窓口の問合せ対応時間は、開庁日の8:30～17:15とする。あらかじめ、処理等がある場合については、事前調整の上、対応を行うこと。

（２）保守要件

保守要件については下記のとおりとし、費用については、保守費用の範囲に含めること。

- ・ OS のバージョンアップについて、OS のサポート期間に応じて、バージョンアップ対応を行うこと。
- ・ パッケージソフトの障害対応及びリビジョンアップは、必要に応じて、その適用作業を実施すること。
- ・ 法制度改正に対応すること。なお、法制度改正対応に伴う適用作業について、国等からの補助金が交付されない場合は、原則保守費用の範囲内で対応すること。
- ・ 障害対応やリビジョンアップの内容については、事前に本市へ報告すること。
- ・ 障害発生時、発生原因の切り分けを行い、障害復旧作業を行うこと。
- ・ 各種マニュアルは、必要に応じて最新化を図ること。

（３）リモート保守

クラウド接続の場合は、受注者の執務室とデータセンター間でリモート保守回線を接続することも可能とする。その場合は、セキュリティに十分注意し、閉域網で接続することとする。また、費用については受注者が負担すること。なお、利用するネットワークの回線帯域については、業務運用に支障のないことを確認すること。リモート保守開始前に、必ずネットワーク接続許可申請書を本市に提出し許可を得ること。さらに、リモート保守の作業環境及び手順等について、事前に承諾を得ること。

また、受注者の執務室は下記の要件を満たすこと。

- ① 入退室時以外は、特別な場合を除き、扉や窓を施錠すること。
- ② 危険物や可燃物は、執務室から十分に離れた場所に安全に保管すること。
- ③ 重要な装置や記憶媒体は、災害によって損傷しないように、可能な限り対策を講じること。
- ④ 執務室への立入りについては、暗証番号かつ生体認証により入退室管理が行えること。
- ⑤ 執務室へのすべての入退室の記録を行い、５年間保管しておくこと。
- ⑥ 入室者は、執務室内において、周囲から身分が確認できる身分証明となるものを着用すること。
- ⑦ 執務室内において、付添いを伴わない見知らぬ者、又は目に見える身分証明を着用していない者に対しては、身分を確認すること。
- ⑧ 執務室内での写真機、ビデオカメラ、録音機又はその他の記録機器の使用は禁止すること。ただし、監視カメラは除く。
- ⑨ 執務室内に持ち込む物品については、事前に安全性について十分に確認すること。

と。

⑩ 執務室内の端末機器等から個人情報を含むデータ等が抜出できないように措置を講じること。

⑪ 執務室内に監視カメラを設置し、入退室の状況や室内でのデータ出力等の作業状況を俯瞰的に映像機器により記録を実施すること。

⑫ 監視カメラによる記録を一定期間保存すること。保存期間は最低1ヶ月間とする。記録された映像はセキュリティ事故が発生した際など本市から提供依頼があった場合に確認及び提供することを想定する。

（４）サービスレベルアグリーメント（SLA）

クラウドの運用・保守の各業務のサービス品質を継続的に高いレベルに保つため、サービスレベルアグリーメント（SLA）を定め、SLA内容を遵守すること。内容の案は「別紙５．サービスレベル定義書」のとおりとし、項目や数値は契約等までに本市と協議のうえ決定すること。SLAの数値は、定期的（セキュリティや障害に関する事項は随時）に本市へ報告し、SLAの数値を達成できなかった場合は、その理由を報告するとともに、構築ベンダの責任として改善策を提示し実行すること。

また、その際に発生する費用は構築ベンダの負担とする。なお、報告時期及び運用における詳細なルール等は、本市と協議の上決定すること。

（５）運用サポート

想定する運用サポート項目は、次のとおりとする。

項 目	概 要
操作支援・Q&A 対応	業務システム運用・操作等で発生する Q&A に対して回答を行う。操作・データ抽出業務作業支援を行う。
調査支援・データ保守支援	運用で発生した問題点の調査・復旧支援を行う。
バッチ処理対応	バッチ処理のパラメタ確認及び、エラー発生時に対応する。（再処理等）
重要処理立会い （基本初年度のみ）	年次処理等の重要イベント処理に立会い、問題発生時に速やかに対応する。

上記を踏まえ、運用経費内で対応できるサポート内容を提示すること。

また、運用経費外で必要と思われるサポートの内容とその費用について、提案すること。

1 5. 開発要件

(1) 概要

費用の適正化を図り、法改正等に即座に対応できる等、システムの安定的な運用、継続的な利用を目的とした開発を行うこと。

(2) 開発工程

開発における作業工程については、1つの工程が終了する毎に本市の承認を得て次工程に着手すること。

1 6. 作業場所、開発端末、ネットワーク環境

1 6. 1 作業場所

作業場所は、受注者又は本市が指定する場所で行うこととする。

1 6. 2 開発端末

開発端末については、受注者が調達すること。なお、本市で作業を行う必要がある場合は、本市が受注者に無償で貸与するものとする。

1 6. 3 ネットワーク環境

既設ネットワークを利用した性能テスト、連携テスト等は、他業務への影響を考慮して行うこと。

1 7. 対象作業範囲と役割分担

対象作業範囲と役割分担は想定として下記の表のとおりとするが、本市と十分協議した上でその範囲を調整することとする。

作業	作業工程	実施目的	役割分担	
			松山市	受注者
構築	分析	システム化範囲、スケジュールを確定する。	◎	○
	設計	入出力(画面・帳票)、データ連携機能を確定する。	◎	○
	製造	プログラムを作成しテストを実施する。		○
	テスト	システム全体の動作を検証する。(システムテスト)		○
		システム全体の動作を検証する。(運用テスト)	○	△
	付帯作業	職員に操作研修を行う。		○
		本稼働切り替え	△	○
		本稼働	◎	○
	PJ 管理	プロジェクト管理を行う。	◎	○

データ移行	分析	データ移行方法・移行項目を確定する。	◎	○
	設計	移行に必要な機能を確定する。	◎	○
	製造	プログラムを作成しテストを実施する。		○
	移行	抽出済データを移行し、検証する。		○
	データ 検証	移行データの検証・修正を行う。	○	△
	適合確 認試験	適合確認試験の支援を行う。	○	△
	付帯作 業	システム切り替え時セットアップ	△	○

※◎：承認 ○：主担当 △：支援

※プロジェクト管理は、データ移行も含めたプロジェクト管理を行う。

18. 納入物件

18.1 納入物件における要件

(1) 本業務の各工程において、「18.2 納入物件一覧」の示す物件等、本業務の履行に必要な物件を必要数量作成し、本市と受注者が協議の上で作成されたスケジュールを基に適宜納品すること。

(2) 納入物件一覧の作成に当たり成果品の内容について、本市と協議の上決定すること。

18.2 納入物件一覧

「別紙6. 納入物件一覧」を参照のこと。

19. 報告書等に関すること

・受注者は、業務を遂行する上で次の事項に関する報告等をするものとし、本市より特段の指示があればその指示に従うものとする。

・受注者は、各年度における業務終了時には「業務完了報告書」等を速やかに提出するものとする。

・受注者は、業務終了までの間、月ごとにおける業務進捗及び業務実績・実施状況（「業務実績等報告書（月報）」）等を本市に提出するものとする。

・業務の遂行において、業務を本市の事務所等において実施する必要がある場合は「作業申請書」等を提出するとともに、作業終了後は、「作業報告書」等を提出するものとする。

・受注者は、業務の遂行において、疑義が生じた場合又は重大な事故等があった場

合は、直ちに本市にその旨を報告するものとする。

- ・稼働までの間、本仕様書中に定める業務について、1カ月に1回程度、定例会を開催するものとする。なお、定例会の開催内容は「12.5 定例会」のとおりとする。

- ・受注者は、定例会の開催後速やかに議事録受注者を作成し、本市の承認を得なければならない。

- ・定例会以外でも課題を共有できるように、本市と協議を行うこと。

20. 備品

(1) 本市は、受注者が本業務を遂行する過程で必要とする本市の帳票、資料、備品等（以下「備品等」という。）を無償で受注者に貸与するものとする。

(2) 受注者は、次の各号の一に該当する場合は、前項に基づき貸与された備品等を速やかに本市に返却するものとする。

①本業務が終了した場合

②その他合理的な理由により本市が返却を要求した場合

(3) 受注者は、貸与された本市の備品等の取扱いについては、善良な管理者としての注意を払わなければならないものとする。

21. 従事者

(1) 受注者は、あらかじめ本業務に従事する受注者の従業員（以下「業務従事者」という。）及び業務従事者から責任者を選任し、その氏名を本市に通知するものとし、交替させる場合も同様とする。

(2) 受注者が選任した業務従事者について本市が不適格であるとして異議を申し出たときは、受注者はその扱いにつき本市と協議しなければならないものとする。

(3) 受注者は、労働法規その他関係法令に基づき業務従事者に対する雇用主としての一切の義務を負うものとし、業務従事者に対する本業務遂行に関する指示、労務管理、安全衛生管理等に関する一切の指揮命令を行うものとする。

(4) 受注者は、本業務遂行上、業務従事者が本市の事務所等に立ち入る場合、本市の防犯、秩序維持等に関する諸規則を当該業務従事者に遵守させるものとする。

(5) 責任者は、受注者の代理人として本業務の実施に関する指揮監督、勤怠管理、安全衛生管理、情報セキュリティ教育の実施等を行うものとする。

22. 報告義務

(1) 受注者は、業務終了時には「業務完了報告書」等を速やかに提出するものとする。

(2) 受注者は、本業務の遂行において、疑義が生じた場合又は重大な事故があった場合は、直ちに本市にその旨を報告しなければならない。

(3) 受注者は、「2 1. 従事者 (5)」の規定において、本市が実施状況等の報告書の提出を求めた場合は、直ちにその旨を報告しなければならない。

(4) 受注者は、本業務終了時には納入物品を速やかに提出するものとする。

(5) 本市の依頼書に基づいて本市の事務所等において作業を実施する場合は「作業申請書」等を提出するとともに、作業終了時には、「作業報告書」等を提出するものとする。

2 3. 身分証明書の携帯及び秘密保持

(1) 業務従事者は、本市の承認を得て本市の作業場所へ本業務作業のために立ち入ることができる。この場合において、その当該業務従事者は必ず身分証明書を携帯しなければならない。

(2) 受注者は、本市所有のデータ保護のため、データ保護管理責任者を定め、本市に通知するものとする。

(3) データ保護管理責任者は、業務従事者が不必要に本市所有のデータを取り扱うことがないように、本業務作業中の監視を行うものとする。

(4) 本市及び受注者は、それぞれこの契約に関連して知り得た相手方固有の業務上、技術上の秘密を第三者に漏洩してはならないものとし、この契約終了後も同様とする。

2 4. 個人情報の保護

受注者は、この契約による本業務を遂行するための個人情報の取扱いについては、別記1「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

2 5. 情報セキュリティポリシーの遵守

(1) 受注者は、この契約を遂行するにあたっては、「松山市情報安全対策指針（情報セキュリティポリシー）」を遵守しなければならない。

(2) 受注者は、前項の定めるもののほか、この契約を遂行するために別記2「セキュリティ要求事項」を遵守しなければならない。

2 6. 委託業務内容等の変更

(1) 本市又は受注者は、本仕様書に定める委託内容の一部について変更を行おうとする場合、その変更の内容、理由等を明記した書面をもって相手方に申し入れるものとする。

(2) 本市及び受注者は、前項の変更の申し入れがあった場合、当該変更の内容及び可否について協議を行うものとする。

(3) 本市及び受注者は、前項の協議の結果、変更の内容が委託料、委託期間等に影響を及ぼす重要事項と判断した場合、本契約の変更契約を締結するものとする。

（４）本市及び受注者は、前項以外の場合、変更契約に代えて、変更の内容、理由等を明記した書面に本市及び受注者が記名押印することにより行うことができるものとする。

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、この契約による事務を処理するに当たっては、個人情報（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号。以下「番号法」という。）第2条第8項に規定する特定個人情報を含む。以下同じ。）保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「個人情報保護法」という。）を始めとする関係法令に従い、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後も、同様とする。

(管理体制等の事前通知)

第3 乙は、この契約による事務の責任者及び当該事務に従事する者を明確にし、その管理体制、実施体制及び個人情報の管理の状況についての検査に関する事項について、甲に、あらかじめ、通知するものとする。なお、変更する場合も、同様とする。

(従事者への周知)

第4 乙は、この契約による事務に従事する者に対し、在職中及び退職後においても、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないこと、これに違反した場合は、個人情報保護法又は番号法の規定に基づき処罰される場合があることその他個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

(従事者への監督及び教育)

第5 乙は、この契約による事務に従事する者に対し、個人情報の適正な取扱いについて監督及び教育を行わなければならない。

(収集の制限)

第6 乙は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、その目的を明確にし、当該事務を処理するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。

(使用等の禁止)

第7 乙は、甲の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務に関して知り得た個人情報を当該事務の処理以外の目的に使用し、又は第三者に提供してはならない。

(安全確保の措置)

第8 乙は、この契約による事務に係る個人情報の漏えい、滅失及び毀損の防止その他の安全確保の措置を講じなければならない。

(持ち出しの禁止)

第9 乙は、この契約による事務を処理するために必要な範囲を超えて、乙がこの契約による事務に係る個人情報を取り扱っている事業所その他の場所から個人情報を持ち出してはならない。

(複写等の禁止)

第10 乙は、甲の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために甲から引渡しを受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(資料等の返還等)

第11 乙は、この契約による事務を処理するために甲から引渡しを受け、又は乙が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約が終了し、又は解除された後直ちに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲が別に指示したときは、当該指示した方法により処理するものとする。

(報告義務)

第12 乙は、甲に対し、この契約の遵守状況について甲が指示する頻度で定期的に報告しなければならない。

(事故報告義務)

第13 乙は、この個人情報取扱特記事項に違反する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従わなければならない。この契約

が終了し、又は解除された後も、同様とする。

（取扱要領等の作成）

第14 乙は、個人情報の適正な管理の確保を図るため、個人情報の取扱いに関する要領等を作成し、甲に報告しなければならない。ただし、甲が必要でないと認めた場合は、この限りでない。

（実地検査）

第15 甲は、この契約の遵守状況を確認するために必要な範囲内において、乙における事務の管理体制、実施体制及び個人情報の管理の状況を年1回以上、原則として実地検査により確認するものとし、乙はこれに協力しなければならない。

（勧告）

第16 甲は、乙のこの契約による事務に係る個人情報の取扱いが不相当と認めるときは、乙に対し、必要な措置をとるべき旨を勧告することができる。

（再委託の制限）

第17 乙は、この契約による事務における個人情報の処理を自ら行うものとし、やむを得ず第三者（委託先の子会社（会社法（平成17年法律第86号）第2条第1項第3号に規定する子会社をいう。）を含む。以下同じ。）に再委託するときは、あらかじめ甲の承諾を得るものとする。

2 乙は、甲の承諾によりこの契約による事務における個人情報の処理を第三者に委託するときは、この契約により乙が負う個人情報の取扱いに関する義務を当該第三者にも遵守させるものとし、乙はそのために必要かつ適切な監督を行わなければならない。

3 乙が甲の承諾によりこの契約による事務における個人情報の処理を再委託した場合において、甲は、乙を通じて又は甲自らが再委託先に対し、第15に規定する措置を実施するものとし、再委託先はこれに協力しなければならない。

4 甲又は乙は、再委託先のこの契約による事務における個人情報の取扱いが不相当と認めるときは、再委託先に対し、必要な措置をとるべき旨を勧告することができる。

5 前4項の規定は、再委託先が再々委託を行う場合以降も同様とする。

（契約の解除及び損害賠償）

第18 甲は、乙が本特記事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の

請求をすることができるものとする。

(漏えい等が発生した場合の責任)

第19 乙は、この契約による事務に係る個人情報の漏えい、滅失、毀損その他の事態が発生した場合において、その責めに帰すべき理由により甲又は第三者に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。

(注) 甲は本市を、乙は受注者をいう。

セキュリティ要求事項

(基本的事項)

第1 乙は、この契約を遂行するにあたっては、「松山市情報安全対策指針（情報セキュリティポリシー）」を遵守するとともに、以下の事項について適正に取り扱わなければならない。

(外部委託のアクセス)

第2 乙は、本市の情報、情報システム及び情報処理施設に委託業者がアクセス等する場合は、事前に方法等を報告し、甲の承認を得なければならない。ただし、甲は、必要に応じて本市の情報、情報システム及び情報処理施設へのアクセス等の停止または方法等の変更を求めることができるものとする。

(必要事項)

第3 乙は、この契約を遂行するにあたり、必要に応じて次の事項を考慮しなければならない。

①事務の実施にあたっては、従事者が関連法令、規制に違反した場合は、当該従事者、責任者、データ保護管理責任者及び乙が連帯して責任を負うものとする。

②乙は、本市の重要な情報資産へのアクセス及び使用を許可する情報資産等を許可された者のみに制限するための物理的、論理的な管理対策等を講じなければならない。

③乙は、乙の所有するハードウェアまたはソフトウェアを甲の所有する装置及び設備で使用する場合は、事前に甲の承諾を得なければならない。

④甲は、事務上必要な場合には、乙及び乙の再委託事業者に対して監査することができる。ただし、この場合において、甲は、監査の結果を乙に通知するものとする。

⑤乙は、この事務の実施にあたり、コンピュータウィルス及び不正ソフトウェアからの保護を確実にするための安全管理対策等の措置を講じなければならない。

⑥乙は、この事務の実施にあたり、ハードウェアやソフトウェアの取り付け・導入・保守に際し、事前に甲の承諾を得るとともに、適正な管理対策及び安全性等の措置を講じなければならない。

⑦乙は、事務上必要に応じて、知的財産権及び著作権の保護等に努めるとともに、適正な管理対策等の措置を講じなければならない。

(事故等報告義務)

第4 乙は、このセキュリティ要求事項に違反及び事故等に関する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に通知するとともに原因並びに被害を調査し、報告しなければならない。

(要求事項に定めのない事項)

第5 乙は、このセキュリティ要求事項に定めのない事項において疑義が生じた場合は、甲・乙協議のうえ定めるものとする。

(注) 甲は本市を、乙は受注者をいう。

別紙1 既存業務系端末

既設のクライアント端末の仕様は下記のとおり。

(1) ノートパソコン

OS : Windows 10 Enterprise 2016 LTSC 64bit／2019 LTSC 64bit
ブラウザ : Internet Explorer 11
メモリー : 8GB
CPU : Intel Core i5 8350U (1.90Ghz)
SSD : 128GB

※今後導入予定の以下のスペックにも対応すること

OS : Windows 10 Enterprise 2021 LTSC
ブラウザ : Internet Explorer 11, Edge, Chrome
メモリー : 8GB
CPU : Intel Core i5 以上 (1.90Ghz)
SSD : 256GB

(2) ソフトウェア

クライアントには次のソフトウェアを導入している。これ以外のソフトウェアを利用しないこと。ただし、使用する場合はソフトウェアの調達・管理は受託者が行い、既存ソフトウェアと競合することなく運用できること。

- ・文字管理

SystemWalker CentricManager クライアントライセンス ver9.5.1 以降のバージョン (富士通)

- ・統合管理

SystemWalker CentricManager ver15.2.1 以降のバージョン (富士通)

- ・情報資産管理

SKYSEA Client View Version 16.300 エージェント (SKY)

- ・日本語運用支援

JEF 拡張漢字サポート ver7.2 L10 以降のバージョン (富士通)

- ・日本語入力

Japanist2003 ver3.10.5 以降のバージョン (富士通)

- ・ウイルス対策ソフト

Trend Micro Apex One 2019 ビルド 2087 以降のバージョン

- ・オフィスソフト

Microsoft Office 2016

※ただし、バージョンアップが必要な場合は、別途協議し本市でバージョンアップします。

別紙2. 利用端末等一覧

課名	設置端末 台数	プリンタ台数	
		レーザプリンタ	日本語ラインプリンタ
住宅課	8台	1台	1台

※設置数については再構築後、追加する可能性もある。

別紙3-2. 仮消データ（コンビニ）仕様書

インターフェイス仕様書		作成者：	作成日： 平成 25 年 9 月 5 日	修正日： 平成 年 月 日	ページ 1/5
納品物名： 仮消データ（コンビニ）		(MUTBO→自治体)			
概要	公金日より前に、自治体にてコンビニ収納データの仮消込用にデータ提供する。				
処理 サイクル	■ 日次 □ 月次（月1回） □ その他（ ） □ 月次（振替日単位） ※随時、年次など 処理単位：コンビニ収納日単位				
起動 条件	コンビニデータ（毎営業日のPM2:00に時間起動）の受信が完了していること ※作成日当日のPM3:00（見込み、作成処理終了次第）以降に、ダウンロード可能				
ファイル 形式	ファイル形式 ■ T X T （固定長・300バイト） ファイル名 x x x x x K A R I K _ C V S Y Y M M D D . t x t ①自治体コード ②納品物名称 ③作成日 ④拡張子 ① ② ③ ④ (和暦)				
レコード 構成	文字コード 改行コード S h i f t - J I S あり (C R L F) レコード種類 レコード構成 ヘッダ : ファイルの先頭を示す。1件。 自治体コード, 作成日, 公金日を管理。 データ : 収納消込データ。収納情報1件毎に1件。 (但し、複数期の納付書の時、1期につき1レコード作成) トレーラ : データレコード件数, 金額を管理。1件。 エンド : ファイルの最後を示す。1件。 ' 00' : ヘッダ (1件) ' 10' : データ (N件) . . ' 20' : トレーラ (1件) ' 30' : エンド (1件)				
レコード 作成条件	対象明細 ☐ 済通データ (☐ 歳入 (抽出条件：) ☐ 戻入) ☐ 口振データ (☐ 振替済 (抽出条件：) ☐ 振替不能) ☒ コンビニデータ (☒ 速報 ☒ 取消 ☐ 確報) ☐ M P N 収納データ ☐ クレジットデータ (☐ 速報 ☐ 取消 ☐ 確報) ☐ 地方税納入サービス ※三菱UFJ銀行データ連携分 ☐ 郵振データ ☐ その他条件 () 作成仕様 ・コンビニ収納データを収納代行業者からの取込取得日単位（※1）に 1ファイルにまとめて出力。 ※1. 毎営業日データ取得 休日はデータ取得せず、翌営業日に休日分をまとめて取得 出力順序 会計コード>歳入年度>科目コード>バッチ連番>エントリー数（特記事項の※2を参照） ※昇順 集計基準 データ部 : 集計は行わない トレーラ部 : 出力レコードの合計を集計して出力（データレコード数、金額合計） 対象データ0件の場合 ヘッダレコード、トレーラレコード、エンドレコードのみ出力				
特記 事項	※2 エントリー数：複数期の納付書の場合、期別のデータレコードを個別作成するため 済通の上段から下段に1から順に採番する				

業務名

総合収納システム

DCB NAME

(DD NAME)

ファイル名

仮消データ（コンビニ）

レイアウト

FORM

RECORD LENGTH

FB 300

作成日

2008.06.26

ACCESS METHOD

QSAM

作成者

F

(例) ID=XX, DSE1=XX, DSECT=YES/NO

ページ

*レコードの終わりにには/印を記入すること

SEG名
区 分

00

ヘッダ

ヘッダ																																																																																																					
ラベル	レコード区分	予備	自治体コード	自治体名称	作成日			公金日			予備																																																																																										
					元号 和暦	月	日	元号 和暦	月	日																																																																																											
サイズ	C 2	C 18	C 5	C 7	C 1	C 2	C 2	C 2	C 1	C 2	C 2	C 2	C 254																																																																																								
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	/	200

SEG名
区 分

10

データ

データ																																																																																																				
レコード区分	歳入年度 元号 年	種目コード 種目区分	会計コード 種目区分	科目コード					測定年度		試験年度		通知書番号	期別	納付月		個人コード等	該当期間		区分1	区分2	件数等																																																																														
				款	項	目	節	細節	細々節									年	から				まで																																																																													
	元号	年									元号	年			元号	年			年				月	日	まで																																																																											
長さ	C 1	C 2	C 2	C 3	C 2	C 2	C 2	C 2	C 2	C 4	C 1	C 1	C 2	C 2	C 2	C 20										C 2	C 4	C 4	C 15										C 6	C 6	C 3	C 2	C 6																																																									
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	

SEG名
区 分

レ ベ ル	本 税 額	報 奨 金	法 人 均 等 割 特 徴 退 職 分	延 滞 金	督 促 手 数 料	納 付 額	所 属 コ ー ド		領 収 日		公 金 日		銀 行 コ ー ド		バ ッ チ 連 番		I D																																																																																		
							部	課	係	元 号 (和 暦)	年	月	日	元 号 (和 暦)	年	月	日	C 6 (銀 行 コ ー ド)	C 7 (支 店 コ ー ド 番 字 コ ー ド)	C 3 バ ッ チ 番 号	C 6 一 連 番 号	I D 1	I D 2	取 締 シ ス テ ム ID	内 訳 区 分																																																																										
ラ ン グ ー ジ	Z 11	Z 7	Z 9	Z 8	Z 3	Z 11	C 2	C 2	C 2	C 1	C 2	C 2	C 2	C 1	C 2	C 2	C 2	C 6	C 7	C 3	C 6	C 3	C 1	C 1	C 1																																																																										
101	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	200

SEG名
区 分

ヘ ム																																																																																																				
ラ	チャンネル別情報 ※内訳はインターフェイス仕様書 別紙4参照																																													任意項目欄										西 暦 年 度 1	西 暦 年 度 2																																											
ベ ル																																														1	2	3	4	5																																																		
ラ フ	C 50																																													C 20										C 10										C 5					C 5					C 5					C 4					C 4														
	201	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	/

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	共通レコード (ヘッダ)			
1	レコード区分	左	C	2	' 0 0 ' (ヘッダ)			
2	予備	左	C	18	ALL' Δ'			
3	自治体コード	左	C	5	県+市町村コード			
4	自治体名称	左	C	7	自治体名称（半角カナ）をセット			
5	作成日	左	C	7	納品物作成日 (元号付和暦)			
6	公金日	左	C	7	ALL' 0'			
7	予備	左	C	254	ALL' Δ'			

※属性の説明 Z：数字項目（右詰め前ゼロ）、C：キャラクター項目（左詰め後ブランク）

仮消データ（コンビニ）作成 編 集 仕 様					プログラムID プログラム名称	仮消データ(コンビニ)	作成者:	作成日: 平成 25 年 9 月 5 日	修正日: 平成 30 年 4 月 28 日	ページ 3
項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	ID=900-△ コンビニ収納(速報・取消)					
					コンビニ					
1	レコード区分	左	C	2	' 1 0 ' (データ)					
2	歳入年度	左	C	3	' △ '					
3	種目コード	左	C	2	自由使用欄『科目』					
4	種目区分	左	C	2	' △ '					
5	会計コード	左	C	3	' △ '					
6	科目コード	左	C	14	' △ '					
7	調定年度 (元号 + 和暦YY)	左	C	3	自由使用欄『調定年度（西暦下2桁）』より 和暦変換値をセット (上2桁はシステムで算出 ※別紙6 西暦上2桁の補完仕様、西暦 和暦変換仕様 参照)					
8	賦課年度 (元号 + 和暦YY)	左	C	3	' △ '					
9	通知書番号	左	C	20	自由使用欄『自由エリア』					
10	期別	左	C	2	' △ '					
11	納付月	左	C	4	' △ '					
				4	' △ '					
12	個人コード等	左	C	15	' △ '					
13	該当期間	左	C	6	' △ '					
				6	' △ '					
14	区分 1	左	C	3	' △ '					
15	区分 2	左	C	2	' △ '					
16	件数等	右	C	6	' △ '					
17	本税額	右	Z	11	請求金額					
18	報奨金	右	Z	7	A L L ' O '					
19	特徴退職分・法人均等割	右	Z	9	A L L ' O '					
20	延滞金	右	Z	8	A L L ' O '					
21	督促手数料	右	Z	3	A L L ' O '					
22	納付額	右	Z	11	請求金額					
23	所属コード	左	C	6	' △ '					
24	領収日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	収納日付より 和暦変換値をセット					
				6	※別紙6 西暦和暦変換仕様 参照					
25	公金日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	' 0 0 0 0 0 0 0 ' (速報)					
				6	' 9 9 9 9 9 9 9 ' (取消)					
26	銀行コード(CVSコード)	左	C	6	ヘッダ、小売業企業コード					
27	支店コード(店舗コード)	左	C	7	収納店舗コード					
28	バッチ連番	左	C	3	※システムで付加（別紙3参照）					
				6	※システムで付加（別紙3参照）					
29	I D	左	C	4	' 900△ '					
30	収納チャネル	左	C	1	' 3 ' (コンビニ)（別紙4参照）					
31	内訳区分	左	C	1	' 1 ' or ' 3 ' (速報or取消)（別紙4参照）					
32	チャネル別情報	左	C	50	コンビニ情報（別紙4参照）					
33	任意項目欄 1	左	C	20	収納コンビニ					
34	任意項目欄 2 (※調定番号用に割当て)	左	C	10	' △ '					
35	任意項目欄 3	左	C	5	' △ '					
36	任意項目欄 4	左	C	5	' △ '					
37	任意項目欄 5	左	C	5	' △ '					
38	年度 1 (西暦)	左	C	4	自由使用欄『調定年度（西暦下2桁）』 (上2桁はシステムで算出 ※別紙6 西暦上2桁の補完仕様 参照)					
39	年度 2 (西暦)	左	C	4	' △ '					

※属性の説明 Z：数字項目（右詰め前ゼロ）、C：キャラクター項目（左詰め後blank）
※別紙3 「バッチ連番」の体系（ドキュメントNo.5）
※別紙4 チャネル別設計
※別紙6 元号・年の算出仕様

仮消データ（コンビニ）作成 編 集 仕 様	プログラムID		作成者:	作成日:	修正日:	ページ
	プログラム名称	仮消データ(コンビニ)				

項 番	編集データ項目名称	右 詰 左 詰	属性	桁数	共通レコード (トレーラ)			
1	レコード区分	左	C	2	' 2 0 ' (トレーラ)			
2	データレコード数	右	Z	6	出力明細の件数をセット			
3	金額合計	右	Z	12	納付額の集計値をセット			
4	予備	左	C	280	ALL' Δ'			

※属性の説明 Z: 数字項目（右詰め前ゼロ）、C: キャラクター項目（左詰め後ブランク）

仮消データ（コンビニ）作成 編 集 仕 様	プログラムID		作成者:	作成日: 平成 25 年 9 月 5 日	修正日: 平成 年 月 日	ページ 5
	プログラム名称	仮消データ(コンビニ)				

項 番	編集データ項目名称	右 詰 左 詰	属性	桁数	共通レコード (エンド)			
1	レコード区分	左	C	2	' 3 0 ' (エンド)			
2	予備	左	C	298	ALL' Δ '			

※属性の説明 Z : 数字項目（右詰め前ゼロ）、C : キャラクター項目（左詰め後blank）

別紙 3-1. 収納消込データ仕様書

インターイ書		作成者：	作成日： 平成 25 年 9 月 12 日	修正日： 平成 年 月 日	ページ 1/22																		
納品物名： 収納消込データ		(MUTBO→自治体)																					
概要	自治体用しているスに対して消込を行ために、 合収納ス作成るデータ。日次確定た収納情報を入力する。																						
処理サイクル	■ 日次 □ 月次（月１回） □ その他（ ） □ 月次（振替日単位） ※随時、年次など 処理単位：公金日単位																						
起動条件	確定 処理が完了していること。 ※作成タイプ： 納品物作成 タン 下によて作成。																						
ファイル形式	ファイル形式 ■ T X T （固定長・３００バイト） ファイル名 × × × × × Y Y M M D D . t x t ①自治体コード ②納品物名称 ③公金日 ④拡張子 ① ② ③ ④ （和暦）																						
レコード構成	文字コード 改行コード S h i f t - J I S あり（C R L F） レコード種類 レコード構成 ヘッダ：ファイルの先頭を示す。１件。 自治体コード，作成日，公金日を管理。 データ：収納消込データ。N件。 トレーラ：データレコード件数，金額を管理。１件。 エンド：ファイルの最後を示す。１件。 <table border="1"><tr><td>'00'</td><td>ヘッダ</td><td>(1件)</td></tr><tr><td>'10'</td><td>データ</td><td>(N件)</td></tr><tr><td>.</td><td></td><td></td></tr><tr><td>.</td><td></td><td></td></tr><tr><td>'20'</td><td>トレーラ</td><td>(1件)</td></tr><tr><td>'30'</td><td>エンド</td><td>(1件)</td></tr></table>					'00'	ヘッダ	(1件)	'10'	データ	(N件)	.			.			'20'	トレーラ	(1件)	'30'	エンド	(1件)
'00'	ヘッダ	(1件)																					
'10'	データ	(N件)																					
.																							
.																							
'20'	トレーラ	(1件)																					
'30'	エンド	(1件)																					
レコード作成条件	対象明細 ■ 済通データ（ ■ 歳入（抽出条件：なし） ■ 戻入（ ） □ 口振データ（ □ 振替済（抽出条件： ） □ 振替不能（ ） ■ コンビニデータ（ □ 速報 □ 取消 ■ 確報 ） □ MP N収納データ □ クレジットデータ（ □ 速報 □ 取消 □ 確報 ） □ 地方税納入サービス ※三菱UFJ銀行データ連携分 □ 郵便データ □ その他条件（ ） 作成仕様 ・ 収納情報１件毎に１レコード出力 ・ 複数期の納付書の場合、１期に １レコード出力 出力順序 会計コード＞歳入年度＞科目コード＞バッチ連番＞エントリー数（特記事項の※１を参照） ※昇順 集計基準 データ部：集計は行わない トレーラ部：出力レコードの合計を集計して出力（データレコード数、納付額） 対象データ0件の場合 ヘッダレコード、トレーラレコード、エンドレコードのみ出力																						
特記事項	・ 別 １： 歳入年度の 出仕様（ドキ ントN .3） □ 準仕様 ■ 特 仕様（市県 税（ ・ 特 ） 部 ） ・ 別 ２：特別 収の 納付月 定年度 年度 出仕様（ドキ ントN .4） ■ 準仕様（ 出 ターン：A） □ 特 仕様 ※１ エントリー数：複数期の納付書の場合、期別のデータレコードを個別作成するため 済通の上段から下段に1から順に採番する																						

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	共通レコード (ヘッダ)			
1	レコード区分	左	C	2	' 0 0 ' (ヘッダ)			
2	予備	左	C	18	' Δ '			
3	自治体コード	左	C	5	県+市町村コード			
4	自治体名称	左	C	7	自治体名称 (半角計) をセット			
5	作成日	左	C	7	納品物作成日 (元号付和暦)			
6	公金日	左	C	7	公金日 (元号付和暦)			
7	予備	左	C	254	' Δ '			

※属性の説明 Z: 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C: キャラクター項目 (左詰め後blank)

収納消込データ作成 編 集 仕 様				プログラムID プログラム名称	納消 データ作成	作成者:	作成日: 平成 年 月 日	修正日: 平成 30 年 4 月 28 日	ページ 3
項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 11 -	D 31 -	D 41 -	D 21 -	
					納付書(コンビニ)	(コンビニ)		()	
					書: 2	書書: 4 4	書書:	書: 8	
1	レコード区分	左	C	2	' 1 0' (データ)	' 1 0' (データ)	' 1 0' (データ)	' 1 0' (データ)	
2	歳入年度	左	C	3	ス 出 (別 1 参照)	ス 出 (別 1 参照)	ス 出 (別 1 参照)	ス 出 (別 1 参照)	
3	種目コード	左	C	2	科目	科目	科目	固定 '11' セット	
4	種目区分	左	C	2	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'	
5	会計コード	左	C	3	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	
6	科目コード	左	C	14	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	
7	定年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	定年度 (暦下 2 桁) より 和暦 をセット (※別 暦上 2 桁の 完仕様、 暦和暦 仕様 参照)	定年度 (暦下 2 桁) より 和暦 をセット (※別 暦上 2 桁の 完仕様、 暦和暦 仕様 参照)	元号 (年) + 年 (和暦) ※元号 (年) が Δ' 時は元号 出 ※別 元号 出仕様 参照	合収納 ス 出 (別 2 参照)	
8	年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	年度 (暦下 2 桁) より 和暦 をセット (※別 暦上 2 桁の 完仕様、 暦和暦 仕様 参照)	年度 (暦下 2 桁) より 和暦 をセット (※別 暦上 2 桁の 完仕様、 暦和暦 仕様 参照)	元号 (年) + 年 (和暦) ※元号 (年) が Δ' 時は元号 出 ※別 元号 出仕様 参照 (ALL' 0' のと 、ALL' Δ')	' Δ'	
9	通 書番号	左	C	20	通 書番号	通 書番号	通 書番号	定番号 ' Δ' のと 定番号をセット 定番号= Δ' のと 通 書番号をセット	
10	期別	左	C	2	期別	期別	期別	' Δ'	
11	納付月	左	C	4	' Δ' (科目= ' 11' のと 、※ ス 出 (別 2 参照))	' Δ' (科目= ' 11' のと 、※ ス 出 (別 2 参照))	' Δ' (科目= ' 11' のと 、※ ス 出 (別 2 参照))	納付年月	
				4	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'	
12	個 コード	左	C	15	' Δ'	' Δ'	分納 書番号	' Δ'	
13	当期間	左	C	6	' Δ'	' Δ'	事業年度 (から) (ALL' 0' のと 、Δ)	' Δ'	
				6	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'	
14	区分 1	左	C	3	' Δ'	' Δ'	区分	納付書種類	
15	区分 2	左	C	2	' Δ'	' Δ'	連番	納付区分	
16	件数	右	C	6	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'	
17	税額	右		11	込金額ー 金(OCR)ー 数 (OCR)	込金額ー 金ー 数	金額	① 分 ' Δ' の時、 分をセット ② 得点、 金、 数 のす てが Δ' か 合計額 ' Δ' の時、 合計額をセット ③上記①②以 の時、 税額の下11桁を セット	
18	報 金	右		7	ALL' 0'	ALL' 0'	ALL' 0'	ALL' 0'	
19	特 分・	右		9	ALL' 0'	ALL' 0'	ALL' 0'	得点	
20	金	右		8	金 (合)	金	金	金	
21	数	右		3	数 (合)	数	数	数	
22	納付額	右		11	合計金額 (合計金額= Δ' のと 、 込金額 ー 金(OCR)ー 数 (OC R) + 金 (合) + (合) をセット)	込金額	金額+ 金+ 数	①合計額 ' Δ' の時 合計額をセット。 ②合計額= Δ' の時、 分 Δ' の時、 分 Δ' の時、 分+ 金+ 数 をセット 分=Δ'の時、 税額 (下11桁) + 得点+ 金 + 数 をセット	
23	属コード	左	C	6	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	
24	収日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	
25	公金日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	
26	銀行コード(CVSコード)	左	C	6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	
27	コード(コード)	左	C	7	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	
28	バッチ連番	左	C	3	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	
				6	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	
29	I D	左	C	4	済通ID	済通ID	済通ID	済通ID	
30	収納チャ ル	左	C	1	' 1' (済通) (別 参照)	' 1' (済通) (別 参照)	' 1' (済通) (別 参照)	' 1' (済通) (別 参照)	
31	区分	左	C	1	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	
32	チャ ル別情報	左	C	50	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	
33	項目 1	左	C	20	自 エリ	自 エリ	' Δ'	' Δ'	
34	項目 2	左	C	10	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'	
35	項目 3	左	C	5	' Δ'	' Δ'	分納回数	' Δ'	
36	項目	左	C	5	' Δ'	' Δ'		' Δ'	
37	項目	左	C	5	' Δ'	' Δ'	元号(事業年度) (ALL' 0' のと 、Δ)	' Δ'	

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 11 -	D 31 -	D 41 -	D 21 -
					納付書(コンビニ)	(コンビニ)		(())
					書: 2	書: 4	書書:	書:書: 8 8
38	年度 1 (暦)	左	C	4	定年度 (暦下 2 桁) (※別 暦上 2 桁の 完仕様 参 照)	定年度 (暦下 2 桁) (※別 暦上 2 桁の 完仕様 参 照)	元号 (年) + 年 (和暦) (※元号 (年) が ' Δ ' 時は元号 出) より 暦 をセット (※別 元号 出仕様、和暦 暦 仕様参照)	合収納 ス 出 (別 2 を参照) より 暦 をセット (※別 和暦 暦 仕様参照)
39	年度 2 (暦)	左	C	4	年度 (暦下 2 桁) (※別 暦上 2 桁の 完仕様 参 照)	年度 (暦下 2 桁) (※別 暦上 2 桁の 完仕様 参 照)	元号 (年) + 年 (和暦) より 暦 をセット (※元号 (年) が ' Δ ' 時は※元号 出仕様参照、※別 和暦 暦 仕 様参照)	' Δ '

※属性の説明 Z : 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C : キャラクター項目 (左詰め後ブランク)
※複数期別の場合、期別毎にデータ 1 件作成
※別 1 歳入年度 の 出仕様 (ドキ ントN .3)
※別 2 特別 収の 納付月 定年度 年度 出仕様 (ドキ ントN .4)
※別 3 バッチ連番 の体 (ドキ ントN .5)
※別 チャ ル別 計
※別 元号・年の 出仕様

収納消込データ作成 編 集 仕 様				プログラムID プログラム名称		作成者:		作成日: 平成 年 月 日		修正日: 平成 30 年 4 月 28 日		ページ 5	
項 番	編集データ項目名称	右 詰 左 詰	属性	桁 数	D		D 02		D 51		D 51		
					期		書 10の		修 (04 の き)		(04 の き)		
					書: 10		書: 11		書: 12		書: 13		
1	レコード区分	左	C	2	' 1 0 ' (データ)		' 1 0 ' (データ)		' 1 0 ' (データ)		' 1 0 ' (データ)		
2	歳入年度	左	C	3	ス 出 (別 1参照)		ス 出 (別 1参照)		ス 出 (別 1参照)		ス 出 (別 1参照)		
3	種目コード	左	C	2	科目		科目		' Δ '		' Δ '		
4	種目区分	左	C	2	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '		
5	会計コード	左	C	3	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		会計		会計		
6	科目コード	左	C	14	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		+項+目+ +細		+項+目+ +細		
7	定年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	年号、年度下1桁よりセット (別 参照)		年号、年度下1桁よりセット (別 参照)		年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照		年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照		
8	年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '		
9	通 書番号	左	C	20	通 書番号、 予備1または通番CDよりセット (別 参照)		通 書番号、 予備1または通番CDよりセット (別 参照)		通 書番号		通 書番号		
10	期別	左	C	2	期別		期別		' Δ '		' Δ '		
11	納付月	左	C	4	(科目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))		(科目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))		' Δ '		' Δ '		
12	個 コード	左	C	15	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '		
13	当期間	左	C	6	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '		
14	区分 1	左	C	3	' Δ '		' Δ '		区分		区分		
15	区分 2	左	C	2	定区分		定区分		種別		種別		
16	件数	右	C	6	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '		
17	税額	右		11	金額上 桁、金額下 桁よりセット (別 参照)		金額上 桁、金額下 桁よりセット (別 参照)		金額		金額		
18	報 金	右		7	ALL' O'		ALL' O'		ALL' O'		ALL' O'		
19	特 分・	右		9	ALL' O'		ALL' O'		ALL' O'		ALL' O'		
20	金	右		8	金		金		ALL' O'		ALL' O'		
21	数	右		3	数		数		ALL' O'		ALL' O'		
22	納付額	右		11	合計 (合計=' Δ' のと、金額上4桁、 金額下4桁から 税額を 出。 出 た 税額+ 金+ 数 を セット 別 参照)		合計 (合計=' Δ' のと、金額上4桁、 金額下4桁から 税額を 出。 出 た 税額+ 金+ 数 を セット 別 参照)		金額		金額		
23	属コード	左	C	6	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		属		属		
24	収日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		
25	公金日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		
26	銀行コード(CVSコード)	左	C	6	収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		
27	コード(コード)	左	C	7	収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		
28	バッチ連番	左	C	3	ス 付 (別 3参照)		ス 付 (別 3参照)		ス 付 (別 3参照)		ス 付 (別 3参照)		
29	ID	左	C	4	' 01ΔΔ'		済通ID		済通ID		' 7001'		
30	収納チャ ル	左	C	1	' 1' (済通) (別 参照)		' 1' (済通) (別 参照)		' 1' (済通) (別 参照)		' 1' (済通) (別 参照)		
31	区分	左	C	1	' Δ' (別 参照)		' Δ' (別 参照)		' Δ' (別 参照)		' Δ' (別 参照)		
32	チャ ル別情報	左	C	50	' Δ' (別 参照)		' Δ' (別 参照)		' Δ' (別 参照)		' Δ' (別 参照)		
33	項目 1	左	C	20	' Δ'		' Δ'		事業		事業		
34	項目 2	左	C	10	' Δ'		' Δ'		科目		科目		
35	項目 3	左	C	5	' Δ'		' Δ'		' Δ'		' Δ'		
36	項目	左	C	5	コード		コード		' Δ'		' Δ'		
37	項目	左	C	5	予備2 (3 桁目) (別 参照)		予備2 (3 桁目) (別 参照)		' Δ'		' Δ'		

収納消込データ作成 編 集 仕 様				ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾐD		作成者:	作成日:	修正日:	ページ
				ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾐ名称	納消 データ作成		平成 年 月 日	平成 30 年 4 月 28 日	6
項 番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D -	D 02 -	D 51 -	D 51 -	
					(期	(書 10の	修 (04 の き)	(04 の き)	
					書: 10	書書: 1111	書書: 1212	書書: 1313	
38	年度1 (暦)	左	C	4	年号、年度下1桁から 定年度を 出 して 暦 をセット (別 参照、別 和暦 暦 仕様参照)	年号、年度下1桁から 定年度を 出 して 暦 をセット (別 参照、別 和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)を 暦 した をセット ※別 元号 出仕様、和暦 暦 仕様 参照	年度(元号)+年度(和暦)を 暦 した をセット ※別 元号 出仕様、和暦 暦 仕様 参照	
39	年度2 (暦)	左	C	4	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'	

※属性の説明 Z: 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C: キャラクター項目 (左詰め後blank)
※複数期別の場合、期別毎にデータ1件作成
※別 1 歳入年度 の 出仕様 (ドキ ントN .3)
※別 2 特別 収の 納付月 定年度 年度 出仕様 (ドキ ントN .4)
※別 3 バッチ連番 の体 (ドキ ントN .5)
※別 チャ ル別 計
※別 (市様個別編集)
※別 元号・年の 出仕様

収納消込データ作成 編 集 仕 様		プログラムID プログラム名称	納消 データ作成	作成者:	作成日: 平成 年 月 日	修正日: 平成 30 年 4 月 28 日	ページ 7
----------------------	--	--------------------	----------	------	------------------	--------------------------	----------

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 002-	D 002-	D 003-1	D 003-2
					通	通	書 共通	書
					書: 2	書書: 3 3	書書: 4 4	書: 5
1	レコード区分	左	C	2	' 1 0 ' (データ)	' 1 0 ' (データ)	' 1 0 ' (データ)	' 1 0 ' (データ)
2	歳入年度	左	C	3	ス 出 (別 1 参照)	ス 出 (別 1 参照)	ス 出 (別 1 参照)	ス 出 (別 1 参照)
3	種目コード	左	C	2	' Δ '	' Δ '	科目	科目
4	種目区分	左	C	2	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
5	会計コード	左	C	3	会計	会計	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)
6	科目コード	左	C	14	年度 (和暦) がブランクのと ブランクをセット 年度 (和暦) がブランク以 のと (元号 出) + 年度 (和暦) ' 428 ' のと 科目コード_1 をセット (元号 出) + 年度 (和暦) ' 428 ' のと 科目コード_1 の1桁目から8桁 + 科目コード_1 の10桁目から2桁 をセット ※別 元号 出仕様 参照	年度 (和暦) がブランクのと ブランクをセット 年度 (和暦) がブランク以 のと (元号 出) + 年度 (和暦) ' 428 ' のと 戻入科目_1 をセット (元号 出) + 年度 (和暦) ' 428 ' のと 戻入科目_1 の1桁目から8桁 + 戻入科目_1 の10桁目から2桁 をセット ※別 元号 出仕様 参照	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)
7	定年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	年度 (元号) + 年度 (和暦) ※別 元号 出仕様 参照	年度 (元号) + 年度 (和暦) ※別 元号 出仕様 参照	元号 (定年度) + 定年度 (和暦) (元号 (定年度) = ' Δ ' または' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様 参照)	元号 (定年度) + 定年度 (和暦) (元号 (定年度) = ' Δ ' または' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様 参照)
8	年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	' Δ '	' Δ '	元号 (年度) + 年度 (和暦) (元号 (年度) = ' Δ ' または' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様 参照) (ALL ' 0 ' のと、ALL ' Δ ')	元号 (年度) + 年度 (和暦) (元号 (年度) = ' Δ ' または' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様 参照) (ALL ' 0 ' のと、ALL ' Δ ')
9	通 書番号	左	C	20	番号 +	番号 +	通 書番号	通 書番号
10	期別	左	C	2	' Δ '	' Δ '	期別	期別
11	納付月	左	C	4	' Δ '	' Δ '	' Δ ' (科目 = ' 11 ' のと、※ ス 出 (別 2 参照))	' Δ ' (科目 = ' 11 ' のと、※ ス 出 (別 2 参照))
				4	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
12	個 コード	左	C	15	バーコード情報	バーコード情報	' Δ '	分納 書番号
13	当期間	左	C	6	' Δ '	' Δ '	事業年度 (から)	事業年度 (から)
				6	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
14	区分 1	左	C	3	区分	区分	区分	区分
15	区分 2	左	C	2	種別	種別	連番	連番
16	件数	右	C	6	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
17	税額	右		11	金額	金額	納付額	納付額
18	報 金	右		7	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '
19	特 分・	右		9	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '
20	金	右		8	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '	金	金
21	数	右		3	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '	数	数
22	納付額	右		11	金額	金額	納付額 + 金 + 数	納付額 + 金 + 数
23	属コード	左	C	6	属	属	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)
24	収日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
25	公金日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
26	銀行コード (CVSコード)	左	C	6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
27	コード (コード)	左	C	7	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
28	パッチ連番	左	C	3	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)
				6	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)
29	I D	左	C	4	' 002 Δ ' (区分 04 05 以)	' 700 Δ ' (区分 04 05 の時)	' 0031 '	' 0032 '
30	収納チャ ル	左	C	1	' 1 ' (済通) (別 参照)	' 1 ' (済通) (別 参照)	' 1 ' (済通) (別 参照)	' 1 ' (済通) (別 参照)
31	区分	左	C	1	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)
32	チャ ル別情報	左	C	50	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)
33	項目 1	左	C	20	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
34	項目 2	左	C	10	科目	科目	' Δ '	' Δ '
35	項目 3	左	C	5	' Δ '	' Δ '	' Δ '	分納回数
36	項目	左	C	5	' Δ '	' Δ '		
37	項目	左	C	5	' Δ '	' Δ '	元号 (事業年度)	元号 (事業年度)

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 002-	D 002-	D 003-1	D 003-2
					通	通	書書共通	書書
					書: 2	書: 3	書書: 4 4	書書: 5 5
38	年度1 (暦)	左	C	4	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	元号 (定年度) + 定年度(和暦)より 暦 をセット (元号 (定年度) ='△' または'0'の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	元号 (定年度) + 定年度(和暦)より 暦 をセット (元号 (定年度) ='△' または'0'の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)
39	年度2 (暦)	左	C	4	'△'	'△'	元号 (年度) + 年度(和暦)より 暦 をセット (元号 (年度) ='△' または'0'の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	元号 (年度) + 年度(和暦)より 暦 をセット (元号 (年度) ='△' または'0'の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)

※属性の説明 Z: 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C: キャラクター項目 (左詰め後blank)
※複数期別の場合、期別毎にデータ1件作成
※別 1 歳入年度の 出仕様 (ドキ ントN .3)
※別 2 特別 収の 納付月 定年度 年度 出仕様 (ドキ ントN .4)
※別 3 バッチ連番 の体 (ドキ ントN .5)
※別 チャ ル別 計
※別 元号・年の 出仕様

収納消込データ作成 編 集 仕 様		プログラムID プログラム名称	納消 データ作成		作成者:	作成日: 平成 年 月 日	修正日: 平成 30 年 4 月 28 日	ページ 9
----------------------	--	--------------------	----------	--	------	------------------	--------------------------	----------

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 003-3	D 003-4	D 003-5	D 010-
					書 共通	通 通		
					書:	書:	書: 8	書: 9
1	レコード区分	左	C	2	' 1 0 ' (データ)	' 1 0 ' (データ)	' 1 0 ' (データ)	' 1 0 ' (データ)
2	歳入年度	左	C	3	ス 出 (別 1 参照)	ス 出 (別 1 参照)	ス 出 (別 1 参照)	ス 出 (別 1 参照)
3	種目コード	左	C	2	科目	科目	科目	固定 ' 11 ' セット
4	種目区分	左	C	2	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
5	会計コード	左	C	3	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)
6	科目コード	左	C	14	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)
7	定年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	元号 (定年度) + 定年度 (元号 (定年度) = ' Δ ' または ' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様 参照)	元号 (定年度) + 定年度 (和暦) (元号 (定年度) = ' Δ ' または ' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様 参照)	年度 (元号) + 年度 (和暦) ※別 元号 出仕様 参照	合収納 ス 出 (別 2 参照)
8	年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	元号 (年度) + 年度 (元号 (年度) = ' Δ ' または ' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様 参照) (ALL ' 0 ' のと、ALL ' Δ ')	元号 (年度) + 年度 (和暦) (元号 (年度) = ' Δ ' または ' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様 参照) (ALL ' 0 ' のと、ALL ' Δ ')	' Δ '	' Δ '
9	通 書番号	左	C	20	通 書番号	通 書番号	通 書番号	定番号
10	期別	左	C	2	期別	期別	月別	' Δ '
11	納付月	左	C	4	(科目 = ' 11 ' のと、※ ス 出 (別 2 参照))	(科目 = ' 11 ' のと、※ ス 出 (別 2 参照))	(科目 = ' 11 ' のと、※ ス 出 (別 2 参照))	納付年月
				4	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
12	個 コード	左	C	15	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
13	当期間	左	C	6	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
				6	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
14	区分 1	左	C	3	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
15	区分 2	左	C	2	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
16	件数	右	C	6	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
17	税額	右		11	金額	金額	金額	分 (分 + 得分 + 金 + 数 = ' 0 ' のと、合計額をセット)
18	報 金	右		7	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '
19	特 分・	右		9	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '	ALL ' 0 '	得分
20	金	右		8	金	金	ALL ' 0 '	金
21	数	右		3	数	数	ALL ' 0 '	数
22	納付額	右		11	金額 + 金 + 数	金額 + 金 + 数	金額	合計額 (合計額 = ' Δ ' のと、 分 + 得分 + 金 + 数 をセット)
23	属コード	左	C	6	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)
24	収日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
25	公金日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
26	銀行コード (CVSコード)	左	C	6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
27	コード (コード)	左	C	7	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
28	バッチ連番	左	C	3	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)
				6	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)	ス 付 (別 3 参照)
29	I D	左	C	4	' 0033 '	' 0034 '	' 0035 '	' 010 Δ '
30	収納チャ ル	左	C	1	' 1 ' (済通) (別 参照)	' 1 ' (済通) (別 参照)	' 1 ' (済通) (別 参照)	' 1 ' (済通) (別 参照)
31	区分	左	C	1	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)
32	チャ ル別情報	左	C	50	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)
33	項目 1	左	C	20	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
34	項目 2	左	C	10	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '
35	項目 3	左	C	5	N	' Δ '	' Δ '	' Δ '
36	項目	左	C	5				
37	項目	左	C	5	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 003-3	D 003-4	D 003-5	D 003-6
					書 共通	通 通		
					書:	書:書:	書:書: 8 8	書:書: 9 9
38	年度 1 (暦)	左	C	4	元号 (定年度) + 定年度より 暦 をセット (元号 (定年度) = ' Δ ' または ' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	元号 (定年度) + 定年度 (和暦) より 暦 をセット (元号 (定年度) = ' Δ ' または ' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度 (元号) + 年度 (和暦) より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	合収納 ス 出 (別 2 を参照) より 暦 をセット (※別 和暦 暦 仕様参照)
39	年度 2 (暦)	左	C	4	元号 (年度) + 年度より 暦 をセット (元号 (年度) = ' Δ ' または ' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	元号 (年度) + 年度 (和暦) より 暦 をセット (元号 (年度) = ' Δ ' または ' 0 ' の場合、元号 出 ※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	' Δ '	' Δ '

※属性の説明 Z : 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C : キャラクター項目 (左詰め後ブランク)
※複数期別の場合、期別毎にデータ 1 件作成
※別 1 歳入年度の 出仕様 (ドキ ント N . 3)
※別 2 特別 収の 納付月 定年度 年度 出仕様 (ドキ ント N . 4)
※別 3 バッチ連番 の体 (ドキ ント N . 5)
※別 チャ ル別 計
※別 元号・年の 出仕様

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 005-	D 005-1	D 005-2	D 005-3
					書: 10	書書: 1111	書書: 1212	書: 13
1	レコード区分	左	C	2	' 10' (データ)	' 10' (データ)	' 10' (データ)	' 10' (データ)
2	歳入年度	左	C	3	ス 出 (別 1参照)	ス 出 (別 1参照)	※ ス 出 (別 1参照)	※ ス 出 (別 1参照)
3	種目コード	左	C	2	固定 '15'セット	固定 '80'セット	科目	科目
4	種目区分	左	C	2	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
5	会計コード	左	C	3	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)
6	科目コード	左	C	14	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)
7	定年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照	年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照	年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照	年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照
8	年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
9	通 書番号	左	C	20	番号	事業者コード	通 書番号	番号
10	期別	左	C	2	固定 '01'セット	' Δ'	月	期別
11	納付月	左	C	4	' Δ'	' Δ'	(科目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))	(科目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))
				4	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
12	個 コード	左	C	15	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
13	当期間	左	C	6	事業年度 (から)	期間 (から)	' Δ'	事業年度 (から)
				6	事業年度 (ま)	' Δ'	' Δ'	事業年度 (ま)
14	区分 1	左	C	3	※済通入力仕様書の 区分 を参照	固定 '01'セット	区分	※済通入力仕様書の 区分1 を参照
15	区分 2	左	C	2	固定 '1'セット	' Δ'	区分	区
16	件数	右	C	6	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
17	税額	右		11	税 額	税額	税額	税額
18	報 金	右		7	A L L ' O'	A L L ' O'	A L L ' O'	A L L ' O'
19	特 分・	右		9	額	A L L ' O'	A L L ' O'	A L L ' O'
20	金	右		8	金	金	金	金
21	数	右		3	数	数	数	数
22	納付額	右		11	合計額 (合計額=' Δ' のと、 税 額 + 額+ 金+ 数 を セット)	合計額 (合計額=' Δ' のと、 税額+ 金+ 数 をセット)	合計 (合計=' Δ' のと、 税額+ + 数 をセット) 金	合計 (合計=' Δ' のと、 税額+ 数 をセット) 金+
23	属コード	左	C	6	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)
24	収日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
25	公金日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
26	銀行コード (CVSコード)	左	C	6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
27	コード (コード)	左	C	7	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
28	パッチ連番	左	C	3	ス 付 (別 3参照)	ス 付 (別 3参照)	※ ス 付 (別 3参照)	※ ス 付 (別 3参照)
				6	ス 付 (別 3参照)	ス 付 (別 3参照)	※ ス 付 (別 3参照)	※ ス 付 (別 3参照)
29	I D	左	C	4	' 005Δ'	' 0051'	' 0052'	' 0053'
30	収納チャ ル	左	C	1	' 1' (済通) (別 参照)	' 1' (済通) (別 参照)	' 1' (済通) (別 参照)	' 1' (済通) (別 参照)
31	区分	左	C	1	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)
32	チャ ル別情報	左	C	50	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)
33	項目 1	左	C	20	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
34	項目 2	左	C	10	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
35	項目 3	左	C	5	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
36	項目	左	C	5	固定 '03'セット	' Δ'		
37	項目	左	C	5	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
38	年度 1 (暦)	左	C	4	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)
39	年度 2 (暦)	左	C	4	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'

※属性の説明 Z: 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C: キャラクター項目 (左詰め後blank)

※複数期別の場合、期別毎にデータ1件作成

※別 1 歳入年度 の 出仕様 (ドキ ントN .3)

※別 2 特別 収の 納付月 定年度 出仕様 (ドキ ントN .4)

※別 3 パッチ連番 の体 (ドキ ントN .5)

※別 チャ ル別 計

※別 元号・年の 出仕様

収納消込データ作成 編集仕様		プログラムID プログラム名称	納消 データ作成		作成者:	作成日: 平成 年 月 日	修正日: 平成 30 年 4 月 28 日	ページ 12
-------------------	--	--------------------	----------	--	------	------------------	--------------------------	-----------

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 00 -1	D 00 -2	D 00 -3	D 00 -4
					(())	()	()	()
					書: 14	書: 15	書: 1	書: 1
1	レコード区分	左	C	2	' 10' (データ)	' 10' (データ)	' 10' (データ)	' 10' (データ)
2	歳入年度	左	C	3	ス 出 (別 1参照)	ス 出 (別 1参照)	ス 出 (別 1参照)	ス 出 (別 1参照)
3	種目コード	左	C	2	税目	科目	科目	科目
4	種目区分	左	C	2	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
5	会計コード	左	C	3	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)
6	科目コード	左	C	14	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)
7	定年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照	年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照	年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照	年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照
8	年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
9	通 書番号	左	C	20	通 書番号	通 書番号	通 書番号	通 書番号
10	期別	左	C	2	期別	期別	月別	期別
11	納付月	左	C	4	(税目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))	(科目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))	(科目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))	(科目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))
				4	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
12	個 コード	左	C	15	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
13	当期間	左	C	6	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
				6	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
14	区分 1	左	C	3	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
15	区分 2	左	C	2	区分	区分	区分	区分
16	件数	右	C	6	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
17	税額	右		11	税額			用
18	報 金	右	7		ALL' O'	ALL' O'	ALL' O'	ALL' O'
19	特 分・	右	9		ALL' O'	ALL' O'	ALL' O'	ALL' O'
20	金	右	8		金	金	ALL' O'	金
21	数	右	3		数	数	ALL' O'	数
22	納付額	右		11	税額+ 金+ 数	+ 金+ 数		用 + 金+ 数
23	属コード	左	C	6	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)
24	収日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
25	公金日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
26	銀行コード (CVSコード)	左	C	6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
27	コード (コード)	左	C	7	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット
28	パッチ連番	左	C	3	ス 付 (別 3参照)	ス 付 (別 3参照)	ス 付 (別 3参照)	ス 付 (別 3参照)
				6	ス 付 (別 3参照)	ス 付 (別 3参照)	ス 付 (別 3参照)	ス 付 (別 3参照)
29	ID	左	C	4	' 0061'	' 0062'	' 0063'	' 0064'
30	収納チャ ル	左	C	1	' 1' (済通) (別 参照)	' 1' (済通) (別 参照)	' 1' (済通) (別 参照)	' 1' (済通) (別 参照)
31	区分	左	C	1	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)
32	チャ ル別情報	左	C	50	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)	' Δ' (別 参照)
33	項目 1	左	C	20	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
34	項目 2	左	C	10	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
35	項目 3	左	C	5	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'
36	項目	左	C	5				
37	項目	左	C	5	' Δ'	地区/ 区	' Δ'	' Δ'
38	年度 1 (暦)	左	C	4	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)
39	年度 2 (暦)	左	C	4	' Δ'	' Δ'	' Δ'	' Δ'

※属性の説明 Z: 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C: キャラクター項目 (左詰め後blank)
※複数期別の場合、期別毎にデータ 1 件作成
※別 1 歳入年度 の 出仕様 (ドキ ントN .3)
※別 2 特別 収の 納付月 定年度 年度 出仕様 (ドキ ントN .4)
※別 3 パッチ連番 の体 (ドキ ントN .5)
※別 チャ ル別 計
※別 元号・年の 出仕様

収納消込データ作成 編 集 仕 様				ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑID ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ名称		納消 データ作成		作成者:		作成日: 平成 年 月 日		修正日: 平成 30 年 4 月 28 日		ページ 13	
項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 008-1		D 008-2		D 009-1		D 009-2				
					通()		通		、		期				
					書: 18		書書: 1919		書書: 2020		書: 21				
1	レコード区分	左	C	2	' 10' (データ)		' 10' (データ)		' 10' (データ)		' 10' (データ)				
2	歳入年度	左	C	3	ス 出 (別 1参照)		ス 出 (別 1参照)		ス 出 (別 1参照)		ス 出 (別 1参照)				
3	種目コード	左	C	2	税目		科目		科目		科目				
4	種目区分	左	C	2	' Δ'		' Δ'		' Δ'		' Δ'				
5	会計コード	左	C	3	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納 区分 (別 1参照)				
6	科目コード	左	C	14	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納 区分 (別 1参照)				
7	定年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照		年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照		年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照		年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照				
8	年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	' Δ'		' Δ'		' Δ'		' Δ'				
9	通 書番号	左	C	20	通 書番号		通 書番号		通 書番号		通 書番号				
10	期別	左	C	2	期別		期別		期別		期別				
11	納付月	左	C	4	' Δ' (税目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))		' Δ' (科目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))		' Δ' (科目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))		' Δ' (科目=' 11' のと、※ ス 出 (別 2参照))				
12	個 コード	左	C	15	' Δ'		' Δ'		' Δ'		' Δ'				
13	当期間	左	C	6	' Δ'		' Δ'		' Δ'		' Δ'				
14	区分 1	左	C	3	' Δ'		' Δ'		' Δ'		' Δ'				
15	区分 2	左	C	2	区分		' Δ'		区分		区分				
16	件数	右	C	6	' Δ'		' Δ'		' Δ'		' Δ'				
17	税額	右		11	税額		複数期の時: 上記以 の時: 合計ー		税額/ 金						
18	報 金	右		7	A L L ' O'		A L L ' O'		A L L ' O'		A L L ' O'				
19	特 分・	右		9	A L L ' O'		A L L ' O'		A L L ' O'		A L L ' O'				
20	金	右		8	金		A L L ' O'		金						
21	数	右		3	数				数						
22	納付額	右		11	税額+ 金+ 数		複数期の時: 上記以 の時: 合計		税額/ 金+ 金+ 数		+ +				
23	属コード	左	C	6	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納 区分 (別 1参照)				
24	収日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照				
25	公金日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照				
26	銀行コード (CVSコード)	左	C	6	収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット				
27	コード(コード)	左	C	7	収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット				
28	バッチ連番	左	C	3	ス 付 (別 3参照)		ス 付 (別 3参照)		ス 付 (別 3参照)		ス 付 (別 3参照)				
29	I D	左	C	4	ス 付 (別 3参照)		ス 付 (別 3参照)		ス 付 (別 3参照)		ス 付 (別 3参照)				
30	収納チャ ル	左	C	1	' 0081'		' 0082'		' 0091'		' 0092'				
31	区分	左	C	1	' 1' (済通) (別 参照)		' 1' (済通) (別 参照)		' 1' (済通) (別 参照)		' 1' (済通) (別 参照)				
32	チャ ル別情報	左	C	50	' Δ' (別 参照)		' Δ' (別 参照)		' Δ' (別 参照)		' Δ' (別 参照)				
33	項目 1	左	C	20	' Δ'		' Δ'		' Δ'		' Δ'				
34	項目 2	左	C	10	' Δ'		' Δ'		' Δ'		' Δ'				
35	項目 3	左	C	5	' Δ'		' Δ'		' Δ'		' Δ'				
36	項目	左	C	5	' Δ'		' Δ'		' Δ'						
37	項目	左	C	5	' Δ'		地区/ 区		' Δ'		地区/ 区				

収納消込データ作成 編集仕様					プログラムID プログラム名称	納消データ作成	作成者:	作成日: 平成 年 月 日	修正日: 平成 30 年 4 月 28 日	ページ 14
項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 008-1	D 008-2	D 009-1	D 009-2		
					通 ()	通	、	、	期	
					書: 18	書: 1919	書: 2020	書: 2121		
38	年度1 (暦)	左	C	4	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)		
39	年度2 (暦)	左	C	4	' Δ '	' Δ '	' Δ '	' Δ '		

※属性の説明 Z: 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C: キャラクター項目 (左詰め後blank)
※複数期別の場合、期別毎にデータ1件作成
※別 1 歳入年度の 出仕様 (ドキ ントN .3)
※別 2 特別 収の 納付月 定年度 年度 出仕様 (ドキ ントN .4)
※別 3 バッチ連番 の体 (ドキ ントN .5)
※別 チャ ル別 計
※別 元号・年の 出仕様

収納消込データ作成 編 集 仕 様				プログラムID プログラム名称		納消 データ作成		作成者:		作成日: 平成 年 月 日		修正日: 平成 30 年 4 月 28 日		ページ 15	
項 番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 009-3		D 011-		D 002-1		D 100-				
					()										
					書: 22		書: 23		書: 24		書: 25				
1	レコード区分	左	C	2	' 1 0 ' (データ)		' 1 0 ' (データ)		' 1 0 ' (データ)		' 1 0 ' (データ)				
2	歳入年度	左	C	3	ス 出 (別 1 参照)		ス 出 (別 1 参照)		ス 出 (別 1 参照)		ス 出 (別 1 出)				
3	種目コード	左	C	2	科目		通 書番号上1桁 ' 1 ' ' 5 ' → ' 31 ' セット 通 書番号上1桁 ' 6 ' ' 7 ' → ' 32 ' セット 通 書番号上1桁 ' 2 ' ' 8 ' → ' 33 ' セット 上記以 のと 、 A L L ' Δ ' をセット		' Δ '		科目				
4	種目区分	左	C	2	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '				
5	会計コード	左	C	3	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)		会計		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納 区分 (別 1 参照)				
6	科目コード	左	C	14	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)		科目コード		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納 区分 (別 1 参照)				
7	定年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照		年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照		年度(元号)+年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照		定年度(元号)+ 定年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照				
8	年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	' Δ '		' Δ '		' Δ '		(元号 出) + 年度(和暦) ※別 元号 出仕様 参照				
9	通 書番号	左	C	20	番号		通 書番号		番号		通 書番号				
10	期別	左	C	2	期別		対象月		月分		期別				
11	納付月	左	C	4	' Δ ' (科目=' 11 ' のと、※ ス 出 (別 2 参照))		' Δ '		' Δ '		' Δ ' (科目=' 11 ' のと、※ ス 出 (別 2 参照))				
				4	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '				
12	個 コード	左	C	15	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '				
13	当期間	左	C	6	事業年度 (から)		' Δ '		' Δ '		' Δ '				
				6	事業年度 (ま)		' Δ '		' Δ '		' Δ '				
14	区分 1	左	C	3	区分		' Δ '		予 区分		' Δ '				
15	区分 2	左	C	2	区分		区分		' Δ '		区分				
16	件数	右	C	6	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '				
17	税額	右		11	税額		金額		金額		税額/				
18	報 金	右		7	A L L ' 0 '		A L L ' 0 '		A L L ' 0 '		A L L ' 0 '				
19	特 分・	右		9	A L L ' 0 '		A L L ' 0 '		A L L ' 0 '		A L L ' 0 '				
20	金	右		8	金		A L L ' 0 '		A L L ' 0 '		金				
21	数	右		3			A L L ' 0 '		A L L ' 0 '		数				
22	納付額	右		11	合計 (合計=' Δ ' のと、税額+ 金 + をセット)		金額		金額		税額/ + 金+ 数				
23	属コード	左	C	6	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)		属		種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納 区分 (別 1 参照)				
24	収日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照				
				6	収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット				
25	公金日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照		※別 元号 出仕様 参照				
				6	収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット				
26	銀行コード(CVSコード)	左	C	6	収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット				
27	コード(コード)	左	C	7	収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット		収納合計 よりセット				
28	パッチ連番	左	C	3	ス 付 (別 3 参照)		ス 付 (別 3 参照)		ス 付 (別 3 参照)		ス 付 (別 3 参照)				
				6	ス 付 (別 3 参照)		ス 付 (別 3 参照)		ス 付 (別 3 参照)		ス 付 (別 3 参照)				
29	I D	左	C	4	' 0093 '		' 011Δ '		' 0021 '		' 100Δ '				
30	収納チャ ル	左	C	1	' 1 ' (済通) (別 参照)		' 1 ' (済通) (別 参照)		' 1 ' (済通) (別 参照)		' 1 ' (済通) (別 参照)				
31	区分	左	C	1	' Δ ' (別 参照)		' Δ ' (別 参照)		' Δ ' (別 参照)		' Δ ' (別 参照)				
32	チャ ル別情報	左	C	50	' Δ ' (別 参照)		' Δ ' (別 参照)		' Δ ' (別 参照)		' Δ ' (別 参照)				
33	項目 1	左	C	20	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '				
34	項目 2	左	C	10	' Δ '		' Δ '		科目/ 定番号		' Δ '				
35	項目 3	左	C	5	' Δ '		' Δ '		' Δ '		' Δ '				
36	項目	左	C	5					' Δ '						
37	項目	左	C	5	' Δ '		' Δ '		' Δ '		地区/ 区				

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 009-3	D 010-1	D 002-1	D 010-0
					()			
					書: 22	書書: 2323	書書: 2424	書書: 2525
38	年度1 (暦)	左	C	4	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	年度(元号)+年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	定年度(元号)+ 定年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、※和暦 暦 仕様参照)
39	年度2 (暦)	左	C	4	' Δ '	' Δ '	' Δ '	年度(元号)+ 年度(和暦)より 暦 をセット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)

※属性の説明 Z: 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C: キャラクター項目 (左詰め後ブランク)
※複数期別の場合、期別毎にデータ1件作成
※別 1 歳入年度 の 出仕様 (ドキ ントN .3)
※別 2 特別 収の 納付月 定年度 年度 出仕様 (ドキ ントN .4)
※別 3 バッチ連番 の体 (ドキ ントN .5)
※別 チャ ール別 計
※別 元号・年の 出仕様

収納消込データ作成 編 集 仕 様					プログラムID プログラム名称	納消 データ作成	作成者:	作成日: 平成 年 月 日	修正日: 平成 30 年 4 月 28 日	ページ 17
項 番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 300-	D 999-				
					通	(通)				
					書: 2	書:書: し し				
1	レコード区分	左	C	2	' 1 0 ' (データ)	' 1 0 ' (データ)				
2	歳入年度	左	C	3	ス 出 (別 1 参照)	※ ス 出 (別 1 参照)				
3	種目コード	左	C	2	' Δ '	済通データ修正 から入力				
4	種目区分	左	C	2	' Δ '	済通データ修正 から入力				
5	会計コード	左	C	3	会計	済通データ修正 から入力 ※種目コード入力時は、 種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)				
6	科目コード	左	C	14	科目コード	済通データ修正 から入力 ※種目コード入力時は、 種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)				
7	定年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	収納合計 の公金日の月=' 03' のと 年度 (元号)+年度 1 をセット 収納合計 の公金日の月 ' 03' のと 年度 (元号)+年度 2 をセット ※別 元号 出仕様 参照	済通データ修正 から入力				
8	年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	' Δ '	済通データ修正 から入力				
9	通 書番号	左	C	20	' Δ '	済通データ修正 から入力				
10	期別	左	C	2	' Δ '	済通データ修正 から入力				
11	納付月	左	C	4	' Δ '	済通データ修正 から入力 (入力の種目コード=' 11' か 納付 月=' Δ' のと、※ ス 出 (別 2 参照))				
				4	' Δ '	済通データ修正 から入力				
12	個 コード	左	C	15	' Δ '	済通データ修正 から入力				
13	当期間	左	C	6	' Δ '	済通データ修正 から入力				
				6	' Δ '	済通データ修正 から入力				
14	区分 1	左	C	3	区分	済通データ修正 から入力				
15	区分 2	左	C	2	種別	済通データ修正 から入力				
16	件数	右	C	6	' Δ '	済通データ修正 から入力				
17	税額	右		11	納付額合計	済通データ修正 から入力				
18	報 金	右		7	A L L ' O '	済通データ修正 から入力				
19	特 分・	右		9	A L L ' O '	済通データ修正 から入力				
20	金	右		8	A L L ' O '	済通データ修正 から入力				
21	数	右		3	A L L ' O '	済通データ修正 から入力				
22	納付額	右		11	納付額合計	済通データ修正 から入力				
23	属コード	左	C	6	属	済通データ修正 から入力 ※種目コード入力時は、 種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)				
24	収日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照				
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット				
25	公金日 (元号) (和暦YYMMDD)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照	※別 元号 出仕様 参照				
				6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット				
26	銀行コード (CVSコード)	左	C	6	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット				
27	コード (コード)	左	C	7	収納合計 よりセット	収納合計 よりセット				
28	バッチ連番	左	C	3	ス 付 (別 3 参照)	※ ス 付 (別 3 参照)				
				6	ス 付 (別 3 参照)	※ ス 付 (別 3 参照)				
29	I D	左	C	4	' 300Δ '	済通データ修正 から入力				
30	収納チャ ル	左	C	1	' 1 ' (済通) (別 参照)	1 ' (済通) (別 参照)				
31	区分	左	C	1	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)				
32	チャ ル別情報	左	C	50	' Δ ' (別 参照)	' Δ ' (別 参照)				
33	項目 1	左	C	20	' Δ '	' Δ '				
34	項目 2	左	C	10	科目	' Δ '				
35	項目 3	左	C	5	' Δ '	' Δ '				
36	項目	左	C	5	' Δ '	' Δ '				
37	項目	左	C	5	' Δ '	' Δ '				

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 300-	D 999-		
					通	(通)		
					書: 2	書: し		
38	年度1 (暦)	左	C	4	収納合計 の公金日の月＝' 03' のと 、 年度(元号)+年度1より 暦 を セット 収納合計 の公金日の月 ' 03' のと 、 年度(元号)+年度2より 暦 を セット (※別 元号 出仕様参照、和暦 暦 仕様参照)	済通データ修正 から入力した よ り 暦 を セット (※別 和暦 暦 仕様参照)		
39	年度2 (暦)	左	C	4	' Δ'	済通データ修正 から入力した よ り 暦 を セット (※別 和暦 暦 仕様参照)		

※属性の説明 Z: 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C: キャラクター項目 (左詰め後ブランク)
※複数期別の場合、期別毎にデータ1件作成
※別 1 歳入年度 の 出仕様 (ドキ ントN .3)
※別 2 特別 収の 納付月 定年度 年度 出仕様 (ドキ ントN .4)
※別 3 パッチ連番 の体 (ドキ ントN .5)
※別 チャ ル別 計
※別 元号・年の 出仕様

収納消込データ作成 編 集 仕 様					プログラムID プログラム名称	作成者:	作成日: 平成 年 月 日	修正日: 平成 30 年 4 月 28 日	ページ 19
項 番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 900 コンビニ 納データ				
1	レコード区分	左	C	2	' 1 0 ' (データ)				
2	歳入年度	左	C	3	ス 出 (別 1 参照)				
3	種目コード	左	C	2	バーコード情報の 自 用 科目				
4	種目区分	左	C	2	' Δ '				
5	会計コード	左	C	3	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)				
6	科目コード	左	C	14	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)				
7	定年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	バーコード情報の 自 用 定年度 (層下2桁) より 和暦 をセット ※別 層上 2 桁の 完仕様、 層和暦 仕様 参照				
8	年度 (元号 和暦YY)	左	C	3	' Δ '				
9	通 書番号	左	C	20	バーコード情報の 自 用 自 エリ				
10	期別	左	C	2	' Δ '				
11	納付月	左	C	4	' Δ '				
				4	' Δ '				
12	個 コード	左	C	15	' Δ '				
13	当期間	左	C	6	' Δ '				
				6	' Δ '				
14	区分 1	左	C	3	' Δ '				
15	区分 2	左	C	2	' Δ '				
16	件数	右	C	6	' Δ '				
17	税額	右		11	バーコード情報の 金額				
18	報 金	右		7	A L L ' O '				
19	特 分・	右		9	A L L ' O '				
20	金	右		8	A L L ' O '				
21	数	右		3	A L L ' O '				
22	納付額	右		11	バーコード情報の 金額				
23	属コード	左	C	6	種目 スタを参照しセット キー: 歳入年度、種目コード、 年 納区分 (別 1 参照)				
24	収日 (元号)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照				
	(和暦YYMMDD)			6	収納日付 より和暦 をセット ※別 層和暦 仕様 参照				
25	公金日 (元号)	左	C	1	※別 元号 出仕様 参照				
	(和暦YYMMDD)			6	い予定日 より和暦 をセット ※別 層和暦 仕様 参照				
26	銀行コード(CVSコード)	左	C	6	ヘッダ、 業 業コード				
27	コード(コード)	左	C	7	収納 コード				
28	バッチ連番	左	C	3	ス 付 (別 3 参照)				
				6	ス 付 (別 3 参照)				
29	I D	左	C	4	' 900Δ '				
30	収納チャ ル	左	C	1	' 3 ' (コンビニ) (別 参照)				
31	区分	左	C	1	' 2 ' (確報) (別 参照)				
32	チャ ル別情報	左	C	50	コンビニ情報 (別 参照)				
33	項目 1	左	C	20	収納コンビニ				
34	項目 2	左	C	10	' Δ '				
35	項目 3	左	C	5	' Δ '				
36	項目	左	C	5	' Δ '				
37	項目	左	C	5	' Δ '				

項番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	D 900			
					コンビニ 納データ			
38	年度1 (暦)	左	C	4	バーコード情報の 自 用 定年度 (暦下2桁) (※別 暦上2桁の 完仕様 参照)			
39	年度2 (暦)	左	C	4	' Δ '			

※属性の説明 Z : 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C : キャラクター項目 (左詰め後blank)

※複数期別の場合、期別毎にデータ1件作成

※別 1 歳入年度 の 出仕様 (ドキ ントN .3)

※別 3 バッチ連番 の体 (ドキ ントN .5)

※別 チャ ル別 計

※別 元号・年の 出仕様

収納消込データ作成 編集仕様					プログラムID プログラム名称	作成者:	作成日: 平成 年 月 日	修正日: 平成 年 月 日	ページ 21
					納消 データ作成				
項 番	編集データ項目名称	右詰 左詰	属性	桁数	共通レコード (レー)				
1	レコード区分	左	C	2	' 2 0 ' (トレーラ)				
2	データレコード数	右		6	出力明細の件数をセット				
3	金額合計	右		12	納付額の集計 をセット				
4	予備	左	C	280	' Δ '				

※属性の説明 Z : 数字項目 (右詰め前ゼロ)、C : キャラクター項目 (左詰め後blank)

別紙 3 - 1 (補足)

項番7. 調定年度

条件		調定年度の編集仕様
(済通上の年号)	(範囲条件)	
0	昭和	●済通上の年度下1桁が5～9の時 '5' + 済通上の年度下1桁 ●済通上の年度下1桁が0～4の時 '6' + 済通上の年度下1桁
4	平成1～9年	'0' + 済通上の年度下1桁
5	平成10～19年	'1' + 済通上の年度下1桁
6	平成20～29年	'2' + 済通上の年度下1桁

※項番7. 調定年度(上1桁)でセットする「元号」は、総合収納システムで算出します。(昭和⇒'3'、平成⇒'4')

済通上の年号='0'、済通上の年度下1桁='3' ⇒ 調定年度='363'
 済通上の年号='6'、済通上の年度下1桁='4' ⇒ 調定年度='424'
 ※年号=0、4～6以外のときは'△'とする。

項番9. 通知書番号

条件 (対象種目)	通知書番号の編集仕様
市県民/固定/軽自	(編集なし)8桁
国保/介護/後期/市営住宅/駐車場 使用料	(編集あり)11桁 通知書番号10桁+予備1または通番C D1桁
上記以外の種目(保育)	(編集なし)10桁

項番17. 本税額

条件 (対象種目)	本税額の編集仕様
市県民(調定年度が平成19年度以 前) 市営住宅(調定年度が昭和57年度以 前) 固定/軽自/国保/保育	(編集あり) 金額上4桁と金額下4桁と'0'を連結し てセット
市県民(調定年度が平成19年度以 降) 市営住宅(調定年度が昭和57年度以 降) 介護/後期/駐車場使用料	(編集あり) 金額上4桁と金額下4桁を連結してセッ ト

項番37. 任意項目欄5

条件 (対象種目)	任意項目欄の編集仕様
国保/介護	予備2(5桁)のうち、3～4桁目の校区 コード(2桁)をセット
上記以外の種目	ALL'△'をセット

※予備2の内訳：調定年度(2桁)+校区コード(2桁)+'0'(1桁)

別紙4. データ移行仕様書

1. 共通事項

(1) 移行データ形式

既存システムから提供される移行データは、以下の形式とする。

- ・文字コード：UTF-16LE
文字フォント：MS ゴシック、MS Pゴシック、MS 明朝、MS P明朝
- ・業務コード体系は、既存システム業者から提示する。

(2) 提供回数及び時期

回数・時期については、協議の上決定する。

(3) 提供するデータの内容

- ・受注者は提供されるデータから、システム構築に必要な項目を抽出し移行すること。
- ・データ移行のレイアウトおよび項目については、本市、既存システム業者、受注者と協議の上決定することとする。
- ・移行不可能な項目及び移行先に必須であるが移行元で管理していない項目等がある場合については、本市と協議の上で移行作業を進めること。
- ・住宅管理システムのデータ移行については全データを移行すること。

別紙5. サービスレベル定義書

松山市が想定するSLA(案)は、次のとおりとする。

なお、利用料金変動(インセンティブ・ペナルティ)が発生しない目標型を想定する。

NO	区分	評価項目	基準値
0	稼働率	オンライン稼働率	90.0%
1	オンラインサービス提供時間	オンラインサービス提供時間(平日)	7:00～22:00
2		オンラインサービス提供時間(休日等)	7:00～22:00
3	目標復旧水準(業務停止時)	RPO(目標復旧時点)	1営業日前の時点(日次バックアップからの復旧)
4		RTO(目標復旧時間)	12時間以内
5		RLO(目標復旧レベル)	業務オンライン(証明書)復旧優先した上での全システム機能の復旧
6	災害対策	システム再開目標(大規模災害時)	一ヶ月以内に再開
7		復旧方針	同一の構成で情報システムを再構築
8		保管場所分散度(外部保管データ)	1ヶ所
9		保管方法(外部保管データ)	ネットワーク経由でストレージへのリモートバックアップを含む (ストレージ:松山市用意 ソフト:ベンダーによる用意)
10	運用・保守性	バックアップ取得間隔	日次で取得
11		問い合わせ対応窓口の設置有無	ベンダーの既設コールセンター等を利用する
12		OS等パッチ適用タイミング	緊急性の高いパッチは即時に適用し、それ以外は定期保守時に適用を行う
13	セキュリティリスク管理	ウィルス定義ファイル適用タイミング	定義ファイルリリース時に実施
14	不正追跡・監視	ログの取得	不正を追跡・検知・監視するために必要な記録(ログ)を取得する。
15		ログの保管	5年間以上
16	運用監視	監視項目	死活監視、エラー監視、リソース監視
17		監視時間	24時間
18		監視間隔	リアルタイム監視(秒間隔)
19	運用サポート	障害発生対応時間帯	開庁日の8:00～18:00
20		一般問い合わせ対応時間帯	開庁日の8:30～17:15
21		バッチ処理対応時間帯	バッチ処理時間帯

別紙 6 納入物件一覧

納入物件は、下記一覧の内容を想定している。

納品物の詳細及び納品時期については、別途協議することとする。

納品物件名称		詳細説明
1	サービス仕様書	サービスのメニュー、機能説明、提供条件などが記載されているもの。
2	プロジェクト計画書	プロジェクト全体におけるスケジュール、体制、品質目標、コミュニケーションルール等を定めたもの
3	各種計画書	プロジェクトの各工程に必要な計画書等
4	全体設計書	他業務との連携方式などの内容が記載されたもの
5	システム設計書	業務システムのパッケージ標準の設計書ならびにオプション機能等の内容を記載したもの
6	ハードウェア構成一覧	システム利用環境におけるハードウェア構成
7	ソフトウェア構成一覧	システム利用環境におけるソフトウェア構成
8	ネットワーク構成一覧	システム利用環境におけるネットワーク構成
9	データ移行における要件書・設計書等	データ移行における要件及び計画書・基本設計書・詳細設計書等を記載したもの
10	課題管理表	プロジェクト期間中の課題管理
11	品質管理資料一式	品質管理に必要なもの
12	テスト成績書	実施したテスト項目及びテスト結果 等
13	研修資料	運用・管理また、利用者研修を実施するためのドキュメント等
14	設定資料	各種数値等の設定情報を記載したもの、パラメータシート等
15	運用マニュアル	処理の追加・変更およびスケジュールの変更手順等運用に必要な手順を記載したもの
16	利用者マニュアル	各業務におけるシステム利用上のマニュアル
17	保守マニュアル	パッケージの法改正やバージョンアップに関する修正の対応についての手順を記載したもの。保守対応の体制図、役割分担、連絡先も記載すること。
18	障害対応マニュアル	障害が発生した場合の連絡手順や代替方法への対応手順を記載したもの
19	各種報告書	保守、障害、品質検査等の作業及び結果に係るもの
20	システム稼働状況報告書	定例会報告書、SLA によるサービスレベル達成状況報告等
21	議事録	プロジェクト打合せ時の議事録
22	ライセンス一覧表	ソフトウェアのライセンスの一覧およびライセンス証書（電子の場合はその写し）